

高野池のアメリカコハクチョウについて

八 木 博

福島県岩瀬郡鏡石町高野池は広さ3ヘクタール位の大きな沼ではないが、近くには10数箇の沼があり、ヨシ、マコモ、ヒシ等の繁茂して、移動して自然の餌をとっているが高野池のみで給餌を行っている。昭和54年に29羽のハクチョウが初めて渡来し、多い時は1,200羽を数えたことがある。

鈴木善行氏が非常に熱心に保護活動をしており、高野池近くに住む渡辺夫妻が1日3回給餌を行っております。

アメリカコハクチョウが毎年渡って来る沼として最近では県外等から観察者も多くなっております。



昭和60年には北上川のアメリカコハクチョウと同じ様な嘴の真黒なアメリカコハクチョウが渡来しております。阿武隈川—茶屋沼→高野池と移動して高野池には長い間滞在した様です。アメリカコハクチョウは川の流れのある場所よりは、沼の様に流れのない場所を好むかと思えます。

今年はおオハクチョウ、コハクチョウ、アメリカコハクチョウ、コブハクチョウの4種類が渡来しました。その中にアメリカコハクチョウがコハクチョウ(三上I型)とペアになって雛鳥を4羽連れて渡来しました。4羽の雛鳥の嘴峰像が多少ずつ違うので、レンズを通して観察をしてみました。

4羽の雛鳥を観察するに当り個体の特徴を中心にアメコ二世、メジロ、クロボシ、シロボシの名前を付けました。

・アメコ二世

最もアメコに似ていて、黄色い部分が少なく見えて、下部の方は黒いモヤの様な模様が左右に同じようにあります。

正面像

付根の部分の中心が段違いで向って右側が中心より下っている。裏側は真黒。

・メジロ

アメコ二世と良く似ているが目のまわりに白い輪があり黄色い部分が二世よりはやや広く見え下部のモヤはなく黒くはっきりしている。

正面像

付根の切れ目が左右均等で切れ目は中心に深く下っている。裏側は真黒。

・クロボシ

メジロ、二世よりは黄色い部分が広く、半島の様な模様が左右均等にあり下部からの黒い線は途中で切れております。

正面像

メジロよりは切れ目は浅く左右均等である。裏側は真黒である。

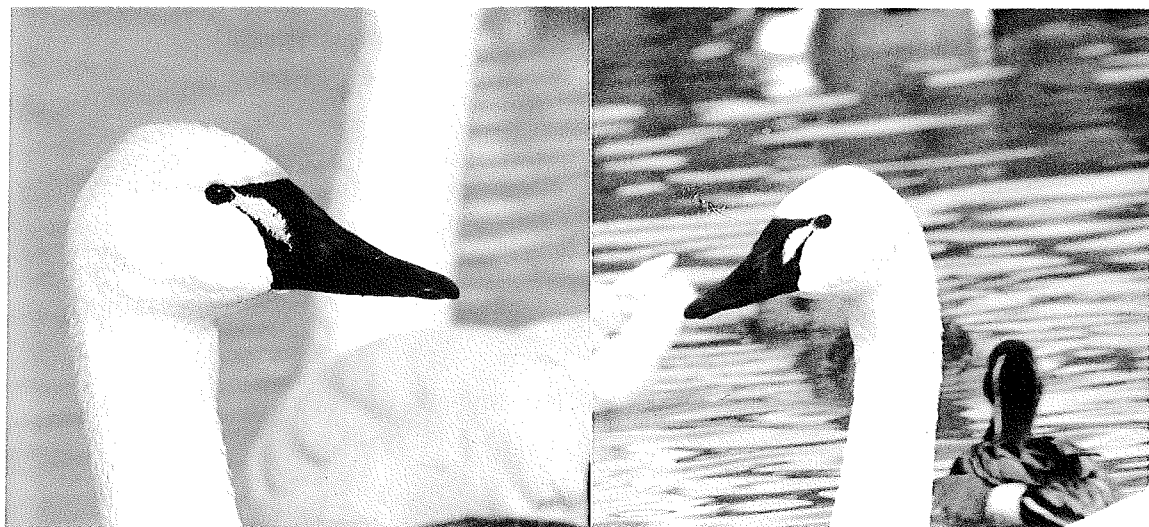
・シロボシ

4羽の中ではメジロに似ているが、黄色い部分は最も広く下部の方に、はっきりした黒点がある。

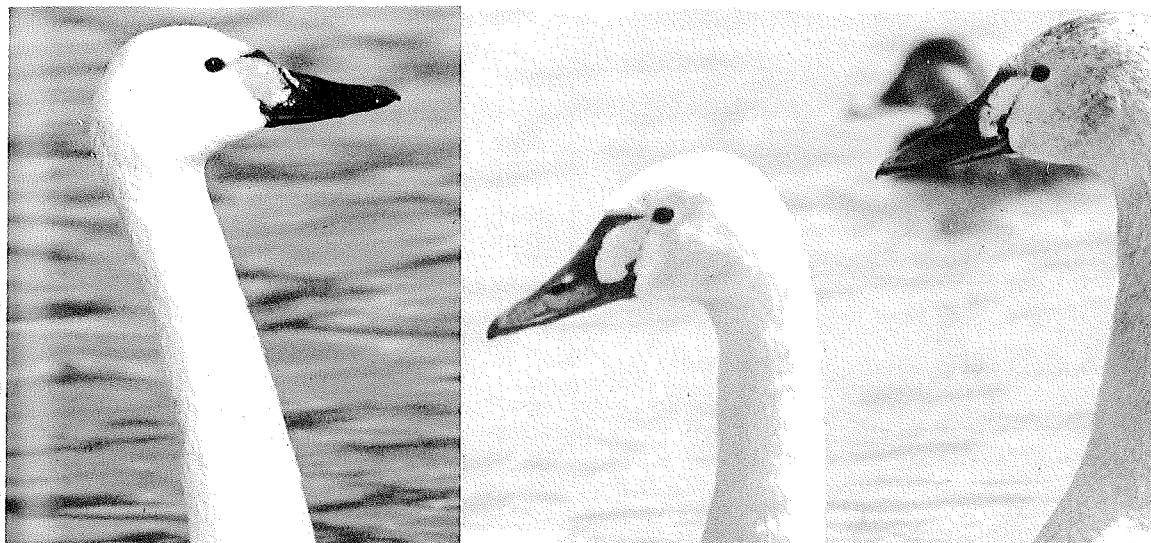
正面像

切れ目は深く中心位の場所に白い点が左右にある。裏側は板目模様で赤く見える。

アメリカコハクチョウのオス、メスについてはアメコの行動、体型、生態、経験を中心に考えますとオスではないかと思えます。

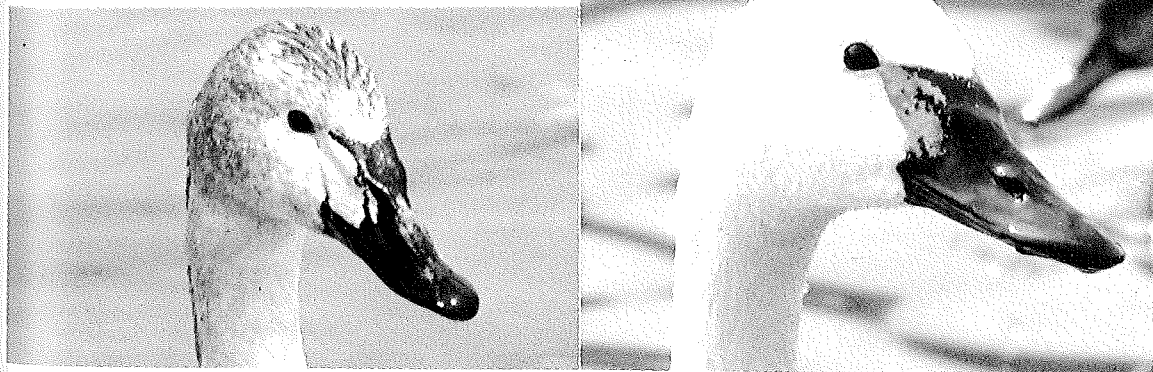


▲ 高野池のアメリカコハクチョウ。



▲ アメリカコハクチョウのつがいのメス。

アメコモドキ(仮称)



高野池(鏡石)

茶屋沼(福島)